

平成 27 年度 東広島市市民協働のまちづくり活動応援補助金  
 まちづくり活動名：志和堀の「宝」再発見  
 活動団体：志和堀小学校区住民自治協議会

23  
よこたこれみや  
**横田之宮**  
A-10

21  
いぼがみさん  
**イボ神さん**  
A-14

15  
よこたやくしどう  
**横田薬師堂**  
A-9

16  
いおうじ(杉坂薬師堂)  
**医王寺(杉坂薬師堂)**  
大原金毘羅堂  
A-11

14  
あうすだにやくしどう  
**大上谷薬師堂**  
A-B

7  
たにまさいせどう  
**谷政伊勢堂**  
A-4

6  
じきやうじんじ  
**時久神社**  
A-3

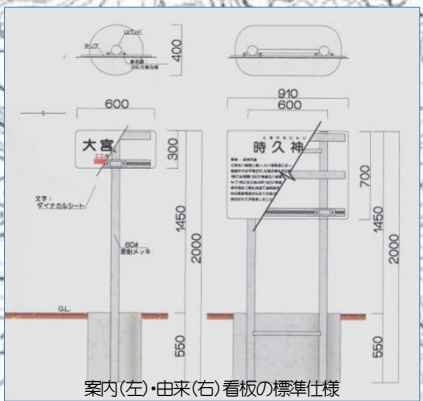
18  
あそうだにいせみや  
**阿蔵谷伊勢宮**  
A-13

4  
うかいちやくしどう  
**十日市薬師堂**

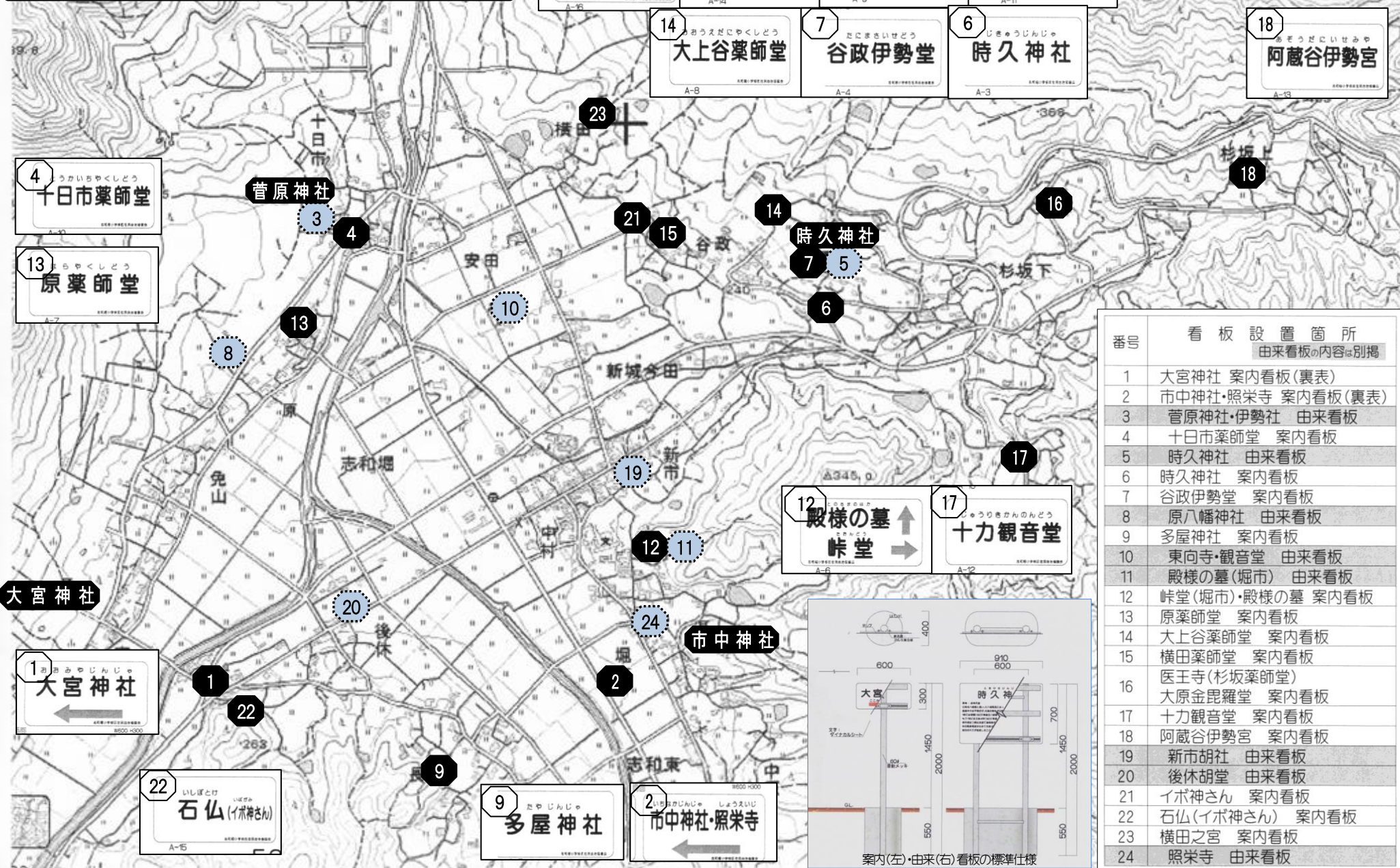
13  
ちやくしどう  
**原薬師堂**

12  
**殿様の墓**  
峠堂  
A-6

17  
じゆうりかんのどう  
**十力観音堂**  
A-12



番号	看板設置箇所 由来看板の内容は別掲
1	大宮神社 案内看板(裏表)
2	市中神社・照栄寺 案内看板(裏表)
3	菅原神社・伊勢社 由来看板
4	十日市薬師堂 案内看板
5	時久神社 由来看板
6	時久神社 案内看板
7	谷政伊勢堂 案内看板
8	原八幡神社 由来看板
9	多屋神社 案内看板
10	東向寺・観音堂 由来看板
11	殿様の墓(堀市) 由来看板
12	峠堂(堀市)・殿様の墓 案内看板
13	原薬師堂 案内看板
14	大上谷薬師堂 案内看板
15	横田薬師堂 案内看板
16	医王寺(杉坂薬師堂) 大原金毘羅堂 案内看板
17	十力観音堂 案内看板
18	阿蔵谷伊勢宮 案内看板
19	新市胡社 由来看板
20	後休胡堂 由来看板
21	イボ神さん 案内看板
22	石仏(イボ神さん) 案内看板
23	横田之宮 案内看板
24	照栄寺 由来看板



### ③ 「菅原神社」

現在は二社が連結されているが、本来は別々に建てられていました。  
(棟札から昭和32年(1957)9月に改造された模様)  
向かって左が「伊勢社」で、右が「菅原神社」です。同じような造り(一間社流造)で、「伊勢社」のほうが少し古いようです。

伊勢社：18世紀初期建立 / 菅原神社：18世紀前期建立  
両社とも明治40年(1907)9月13日大宮神社に合祀されましたが、昭和32年(1957)9月20日に再分祀され、現在に至っています。

### ⑧ 「原八幡神社」

現在の本殿は棟札から、享保14年(1729)の建立で「八幡旗八幡宮」と呼ばれていたようです。  
一間社としては、比較的大型で建立年代も古く、東広島市内における小社の本殿の例として重要な建築物です。本殿内の玉殿も本殿と同時代の造立と考えられ、同じく志和堀にある市中神社の玉殿と細部意匠が酷似するので、同一工匠の作である可能性があります。東広島市内に残る玉殿では、最も優れたものの一つです。

明治40年(1907)9月13日大宮神社に合祀されました。

### ⑱ 「新市胡社」

「堀市」に代わって出来た「新市」の繁栄を願って、造力節氏(志和堀村助役)が発起人となり、大正3(1914)年9月30日新市有志者が協議し満場一致で本社を建築する事を決し、大正3年11月15日起工、大正3年12月20日棟上式を行い、大正4年(1915)に竣工する。

昭和35年(1960)本社前の道路改修舗装工事に伴い落差が生じ、昭和43年(1968)10月敷地の埋立地場工事を実施すると共に、社殿の補修工事も行い現在の姿となる。

例祭日は11月20日(旧暦10月20日)。  
往時(大正～昭和年代)、例祭日には各種余興(角力・映画・芝居・餅撒き等)を盛大に行い賑っていました。  
<「志和町史」によると、『大宮神社客殿』を移転したとある。>

### ⑳ 「後休胡堂」

祭神：えびす大神・産土神 / 御利益：豊作・商売繁盛・開運  
創建：慶長3年(1598)3月18日 / 祭事：元旦・大宮八幡神社例大祭日  
縁日：春・夏・誓文祭  
集落の民が交替で催事を執り行ない、「牛玉宝印(御神福札)」の護符の配布を大宮八幡神社より奉許される。厳島神社創建の頃、大宮八幡神社では子生城山に、神輿御渡し神事の「頓宮」・「除層社」や御幣使の御休み所を建立する。「後休」の地名の謂れとなる。御休⇒後休)

室町幕府終焉の頃、神社仏閣などの整理統廃合が行なわれ、大宮八幡神社の境内社や除層社も対象になり、廃止にかかる境内社および東側横馬場にあった祠堂「えびす」を、後休集落の守護神とする旨を、願い出て「後休胡堂」として、現在地に遷堂しました。大正4年(1915)大宮八幡神社客殿移転に伴い、後休胡堂の大神を分霊し「新市胡社」を勧請する。

昭和17年(1942)火災に遭うも、篤志家により再建を果たしました。  
昭和42年(1967)土地改良工事時、志芳の産土神が祀られていた「砂脇恵照堂」(建長8年(1256)3月12日建立・石塚ありを後休胡堂に合祀しました。

### ⑤ 「時久神社」

祭神：応神天皇 / 旧称を「八幡宮」と言い、元八幡風呂にあったものを自休原へ移転したという。創建年代は不詳ですが、社蔵の棟札が2枚あり、1枚には明暦3年(1657)「奉建立八幡宮」とあり、もう1枚には文政4年(1821)「奉建立八幡宮一社」とあります。

現在の本殿は三間社流造で、建築様式は古式で十八世紀後期を思わせるが、材の風食の程度からすると、文政4年の再建のものと思われる。

棟札から造営に当たったのは地元の大工で、付近の社寺建築を参考にして見様見まねで建てたものと思われる、大変興味深い建築物です。保存状態は良好で、庇の床板、廻縁、木階などを取替えたほかは再建時のままです。祭壇上には二基の玉殿を置くが、中央間のものが本来の時久神社の玉殿で、一間社流見世棚造で年代は本殿より新しいようです。脇間のものは合祀社の玉殿と思われ、玉殿内に「奉納九頭龍大 寛政12年(1800)申4月…」銘の棟札があります。

### ⑩ 「東向寺」

宗派：浄土真宗本願寺派 本尊：阿弥陀如来 鎮崇山観音院と号す  
創建は不詳であるが、「芸藩通志」に「鎮崇山観音院とて、地頭天野隆重が、香花場なりしといふ」とあり室町時代の天文年間(1540年頃)志和堀地域を治めていた、武士天野隆重の菩提寺となっていたようです。

中世には寺領も相当あったが福島正則の時、寺領を没収され寺運も傾き衰退したようです。  
明治6年(1873)6月から、約10年間照心舎(志和堀小学校の前身)として使用されました。現本堂は昭和元年(1926)に再建され、昭和39年(1964)大修理され現在に至っています。

### 「観音堂」

江戸時代には観音堂一字を残すだけとなっていたようですが、現在は再興された東向寺の境内に仏堂として存続しています。建立年代は不詳ですが、建築様式上から見て18世紀中期と推定されます。この観音堂は、中世の寺院が近世になって衰退し小堂を残すだけとなった例で、東広島市内には多くありますが、その中では規模が大きく建立年代も古く、この時期(江戸時代)に建てられた志和堀の小堂の範となった建築物です。

### ⑪ 「殿様の墓」

鎌倉～戦国時代にかけて志和堀の地を治めていたのは、伊豆の国(現静岡県)からやって来た天野氏という武士でした。

志和堀天野氏の最盛期は、室町～戦国時代に大内氏・毛利氏に属して活躍した、隆重・元明の時代です。隆重は、現在志和堀小学校が建っている場所にあった「財崎城」を本拠としていました。この城の側に、天野氏に関すると思われる古墓があり「殿様の墓」と呼ばれています。

向かって左側の墓(宝篋印塔)に「慶長巳亥年8月」の年号が刻まれています。誰の墓か不明ですが、年代的にみて隆重に関係する人物のものと思われる。宝篋印塔は志和堀には産しない石灰岩でできています。「慶長巳亥年」は「慶長4年(1599)」です。「芸藩通志」には「天野氏墓」と記されています。

### ⑳ 「照栄寺」

宗派：浄土真宗本願寺派 本尊：阿弥陀如来 光明山と号す。  
平安時代、長保3年(1001)8月近江国湛然が、庵室を建て、真言宗光景山正徳寺と称し後、天台宗に改め、財崎城 天野元明の香花場となった。

室町末期天正元年(1573)頃、久芳村杼山城主井口与右衛門が出家して浄念阿闍梨と称し、本願寺頭如上人に帰依して、浄土真宗に改宗し光明山照栄寺と称した。初めは大杉にあったが、改宗と共に現在地に移転した。当寺は、度々火災にかかり、明治4年(1871)に全焼し、現在の本堂は明治30年(1897)に再築された。昭和37年(1962)5月本堂を修復。